

平成30年生駒市教育委員会第10回定例会会議録

1 日 時 平成30年10月22日(月) 午前9時37分～午前10時20分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

(1) 報告第17号 平成30年生駒市議会第6回(9月)定例会提出議案の結果について

4 出席委員

教育長	中 田 好 昭		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委員	寺 田 詩 子
委員	神 澤 創	委員	浦 林 直 子
委員	坪 井 美 佐	委員	レイノルズあい
委員	西 井 久 之		

5 事務局職員出席者

教育振興部長	真 銅 宏	生涯学習部長	八 重 史 子
教育振興部次長	吉 川 和 博	教育総務課長	辻 中 伸 弘
教育指導課長	城 野 聖 一	学校給食センター所長	植 島 秀 史
こども課長	前 川 好 啓	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	新 土 和 美	子育て支援総合センター所長	辻 本 多 佳 子
生涯学習課長	向 田 真 理 子	図書館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	吉 岡 秀 高	教育総務課課長補佐	山 本 英 樹
教育指導課課長補佐	滝 澤 治 生	こども課課長補佐	松 田 悟
生涯学習課課長補佐	梅 谷 信 行	スポーツ振興課課長補佐	西 政 仁
教育総務課(書記)	牧 井 望	教育総務課(書記)	鬼 頭 永 実

6 傍聴者 0名

午前9時37分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 会期・会議時間の決定

○日程第3 諸般報告

- ・11月の行事予定について、辻中教育総務課長、向田生涯学習課長、吉岡スポーツ振興課長から報告

(質疑)

西井委員：17日の小学生長距離走記録会は奈良県市町村対抗こども駅伝大会の予選を含むのか。

吉岡課長：そのとおりである。

西井委員：校長会の際など、各校に声掛けし、一人でも多くの児童に参加いただく旨の協力を仰ぐようお願いしたい。

吉岡課長：各校に要項等の配布依頼をしているので、先生方も把握はされているが、周知に一層ご協力いただけるように、工夫していきたい。なお、例年は170人程度だった参加者が近年200名程度まで伸びている。

西井委員：生駒市の駅伝の順位は最高で7位だったかと思うが、生駒市の人口から考えても、更に上位を狙えるだろう。指導者も力が入っているので、実力のある子どもたちに参加してもらいたい。

○日程第4 報告第17号 平成30年生駒市議会第6回（9月）定例会提出議案の結果について

- ・平成30年生駒市議会第6回（9月）定例会提出議案の結果について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書p1、資料1>

(質疑)

中田教育長：資料1については、決算議案について、予算執行に当たっての留意点を附帯意見としていただいたものである。この意見を踏まえた今後の方針について、事務局から説明を受けたい。

吉川次長：まず、私立保育所等整備補助事業については、現段階での開所は1か所にとどまった。理由としては、各園で空き店舗等を探しているが、保育施設は泣き声がする等、貸主が貸したがる傾向があるためである。現在、生駒こども園が増築に向けて取り組んでおり、また、グルメシティ北大和跡の空きスペースに、北倭保育園が小規模保育開設に向けた取組を行っている。他の園についても、貸していただける場所さえあれば、

本事業に取り組めるように検討中である。続いて、学童保育施設運営事業については、指導員の労務管理等、給与等待遇面を改善したい。現在、学童保育の入所希望者を全て受け入れており、保護者の労働状況について詳細な申告をいただいている状況である。学童を分割し対応している学校もあるが、学童需要が増える中で、場所を増やす以外の対応も視野に入れていきたい。最後に、幼稚園管理運営事業については、園児数は年々減少傾向にある。今年度の募集もまもなく終了するが、現段階でかなり少ない。学校教育のあり方検討委員会就学前教育・保育部会でも検討している最中であり、今後幼稚園の方向性についても示していきたいと思う。

中田教育長：具体的な方向性については、その都度報告させていただく。現在、市議会も就学前教育に対する関心が強い。市議会の市民文教委員会が行った就学前教育の先進地視察・調査についても説明を受けたい。

真銅部長：10月11日～12日に市議会の市民文教委員会の栃木県宇都宮市・埼玉県草加市への先進地視察に同行した。両市とも小中一貫教育の先進地で、施設分離型での取組を実施している。埼玉県草加市は小中一貫教育以前に、保幼小中接続事業を推進しており、0～15歳までの一貫した教育を掲げ、保育所・幼稚園から小・中学校までの円滑な接続に取り組んでおられる。また、宇都宮市の小中学校の校区設定は1小1中あるいは2小1中、3小1中、4小1中なので、一貫教育の導入がしやすい部分もある。生駒市においても参考にできる事例が見受けられたので、今後取組に反映させていきたい。

中田教育長：小中一貫教育は、当市でも学校教育のあり方検討委員会学校規模適正化部会にて、協議を進めているが、少子化に伴う小中学校の適正配置につながるものであり、市議会も関心を高めているのだと思う。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 その他

- ・教職員夏期研修の実施について、城野教育指導課長から説明

<参照：その他資料1>

(質疑)

中田教育長：今年度特に重点的に取り組まれた項目の内容と成果を伺いたい。

城野課長：まず大型ディスプレイ活用説明会では、今年度小学3年～中学3年の普通教室に設置した大型ディスプレイの授業内での有効な活用方法について、事務局指導主事から各担任教員に説明した。続いて、昨年度壺分小学校区で実施した保幼小接続事業については、鳴門教育大学から木下光二教授をお招きし、保育園・幼稚園・小学校の先生方を対象に、幼小接

続研修会を実施した。続いて、昨年度から実施している熱中症予防対策説明会では、天理大学体育学部から神谷宣広教授をお招きし、お話を伺った。また、生駒市教育研修会では、今年度から小学校に導入された「特別の教科 道徳」の指導と評価について、畿央大学現代教育学科から島恒生教授をお招きし、ご講演いただいた。最後に、外国語活動授業づくり研修では、学習指導要領の改訂にあたって、今年度からの移行措置のため小学校で実施している英語学習について、国が製作した教材の活用方法について、事務局指導主事とALTコーディネーターから各担任教員に説明会を行った。その他の研修会についても、それぞれの課題改善に向けて試行錯誤しながら実施した。

寺田委員：幼小接続説明会について、保育園・幼稚園・小学校の先生方が対象とのことであるが、参加者の内訳を伺いたい。

新土指導主事：保育園・幼稚園から44名、小学校から43名の参加であった。

寺田委員：人数制限はあるのか。

新土指導主事：特に設けていない。

寺田委員：本研修には、小学校の先生方に積極的に参加していただきたい。昨年度研修を参観したが、講師の木下教授は、行事における交流だけでなく、子どもたちの内面の接続について説明されており、小学校の先生方にも是非聞いていただきたいお話をされていた。今後、参加率の向上に向けて取り組んでいただきたい。

レイルス委員：英会話研修・外国語活動授業づくり研修において、今年度はアンケートを実施し、大変良いフィードバックがあった。アンケートのご意見にもあったように、研修の頻度を増やしていただきたい。先生方が授業以外で英語に触れる機会のないことを考えると、授業にも消極的になってしまうのも理解できる。夏休みの一度きりでなく、四半期に一度か月に一度など、可能な範囲で開催を増やしていただき、先生方に英語を身近に感じていただきたい。

飯島委員：ご参加いただいた先生方からのご意見を集約したことで、次年度に向けての課題が見えてくるので、引き続きお願いしたい。また、ICT機器活用に関する研修の数が多いように感じるが、少人数での実施なのか。

城野課長：そのとおりである。

飯島委員：WordとExcelの講座は分けなくていいのではないかと。これらは併用していくことが多いと思うので、Word・Excel講座の初級・中級・上級という分け方をした方が、実際にニーズに合った研修ができると思う。また、ディスプレイなどのICT機器活用については、講演会をしてからの実習を含めた研修会という流れにするのが良いだろう。

西井委員：夏休みは多岐にわたる研修があり、多忙であったと思うが、事務局指導主事にご尽力いただいたものと思う。夏期研修は先生方の自由参加なの

で、先生方も得意分野の研修を受ける傾向がある。苦手分野の研修に参加いただくには、受講を強制してもいいのではないかと。夏期研修は給与を受ける勤務時間内に実施されているので、強制的に受講させ、教員として必要な力を身に付けていただくのが妥当だろう。ICT機器の利用が不得意な先生は受講したがないし、機器も使いたがないので、能力が向上することもない。そのような先生方にこそコンピュータ研修を受講していただかなくてはならない。今後は、先生方に各々の苦手分野の研修を受けていただくための方策を講じていただきたい。

- ・生駒市学校教育のあり方検討委員会における審議報告について、城野教育指導課長より説明
(質疑) なし
- ・オレンジリボンキャンペーンの実施について、辻本子育て支援総合センター所長から説明
＜参照：その他資料2＞
(質疑) なし

○閉会宣告

午前10時20分 閉会